

学校公開！長崎っ子の心を見つめる教育週間 「淵中～命を考える週間～」

期間：4月22日(金)～4月28日(木)

〈趣旨〉 本県では、2004（平成16）年度より本教育週間を開始し、教育活動を公開、学校と保護者や地域住民が連携し「地域の子どもは地域ではぐくむ」という気運を高めています。

本校では、1995（平成9）年4月、いじめにより生徒が自ら命を絶つという悲しい出来事がありました。これをきっかけに「命を育てる集会」が開かれ、命の大切さを考えるとともに、いじめをなくそうと強く決意しました。その中で、「いじめ」をなくすために生徒が自ら活動する「FPKO」（フ・ピ・ス・キ・ピ・ツ・カ・レ・ソ・ソ）を作り、「淵中でのいじめをなくそう」と、現在も生徒会専門部の中に位置づけて「いじめをなくすアピール」を宣言し、いじめ防止への意識を高めています。

〈主な取組〉

22日(金) 8:15～ 全校朝会（体育館）校長講話

14:50～ FPKOテーマアピール宣言（各学年による取組）

27日(水) 13:45～ 命を題材とした道徳公開授業（全学年 各教室）

15:00～ PTA 総会・課外クラブ振興会総会（体育館）

28日(木) 8:20～ 慰霊式

13:55～ 「命を考える講演会」（体育館）

講師：草野 紀視子 先生（NPO 法人有明支援会理事長）

※この期間中は、地域・保護者の皆さんの都合のつく時間に学校においでください。

※コロナ感染症対策として、手指消毒・マスクの着用にご協力ください。

校長室より

淵中では、過去に大変悲しい出来事がありました。

原因は、いじめでした。

日常的に、クラスの多くの人たちから言葉の暴力を受けていたのです。

そして、「もう耐えられない」「あの人たちは、私が傷つくのがさも楽しそうに笑っていた。私は、もうその笑いに耐えられない。本当にごめんなさい。」と書き残して自らの命を絶ったのです。

どんなにつらい毎日だったでしょう。

遺書の中にはこういう言葉もありました。

「私は、毎日毎日、行動と言葉でいじめられているのに、だれも気付いてくれない。」と。

周りの人たちに、どれだけ気付いてほしかったでしょう。

そして、どれだけ助けてほしかったでしょう。小さくてもいい、誰かの行動を待っていたのです。

その後、「FPKO」が立ち上がり、同じことを繰り返さないようにと、今も続けています。

この週間は、改めて、いのちの大切さを考え、いじめをなくす決意をしていく機会です。

保護者の皆様、どうぞ学校にお越しいただき、子どもたちの様子をご覧ください。お待ちしております。